**地域の強みを高める公衆衛生看護技術 【活気づけ編】　～ナラティブベースのシミュレーション学習～**

**■学習方法　～まず教材活用ガイドをご覧ください～**

2種類の学び方： **１．『みて・きいて、実感持ってワザ・ゲット！』　 シナリオ１・２の動画教材を視聴して学ぶ**

**２．『演じ・感じて、実感持ってワザ・ゲット！』** **シナリオ１・２の役割演技を通して学ぶ**（グループ内で配役して演技／声に出して読み合わせる）

基本事項：１．シナリオ１を視聴し（役割演技し）ワークシートのシナリオ1気づき欄に記入。引き続きシナリオ２を視聴し（役割演技し）シナリオ２気づき欄に記入。

２．ワークシート左のシナリオ１と右のシナリオ２の内容を比較し、異なる点からこのワザのポイントを導いて、学び欄に記入。

３．そのあと、自分がこのワザをいつどのような場面で使うか、すると今までと比べて何がよくなりそうかをアクション欄に記入。

４．グループ内での検討やフィードバックを受けて、最後にリフレクション欄に記入。

**■場面設定**

1. あなたは保健師の 新田菜　一歩（あらたな いっぽ）、A市B町の健康福祉課に就任して2年目という設定です。A市は、地区分担制で、あなたはスミレ地区の担当です。
2. 最近、隣のリンドウ地区で、高齢者の孤立死が発生しました。この出来事に保健師一同はショックを受け、同じことが起こる可能性が他地区にもあると考え、なんとかせねばと動き出しました。
3. A市B町は、高度経済成長期の重点課題として地域開発され、都市のベッドタウンとして発展してきた町で、B町はリンドウ地区、スミレ地区、レンゲ地区から構成されています。
4. ただ現在の人口は１万８千人で、人口減少、高齢化が進行していて、特に最初に造成されたリンドウ地区の高齢化率は34.8％と、スミレ地区の24.8％より1割も多い状況です。
5. スミレ地区は、景色のいい丘陵地の戸建て団地で、今は170世帯、400人が生活。近辺にはお店や病院がなく、主な交通手段は、坂道を15分くらいかけて降りたところの電車です。
6. 子どもらが巣立ったあと、地域のつながりが弱くなり、今はそのつながりを醸成する仕組みもないことから、あなたは、そこに衛る「生（生命・生活・生きる権利）」があることに気づきました。
7. そこであなたは、健康推進員に協力をお願いし、関心のありそうな住民に呼びかけ、「わがまち・丸ごと知ろう会」を開催することにしました。10人程度が集まってくれたのがこの場面です。

**■地域の強みを高める公衆衛生看護技術 ～めざす方向性、規範、技術：【枠組み】 《大ワザ》　〈小ワザ〉～　　～この教材の焦点は【活気づけ】～**

【めざす方向性】 ポピュレーションの最良のポジティブヘルス状態（公衆衛生の向上）

【規範 社会的公正】 《信頼とパートナーシップ》 《平等・公平性》 《みなの「生」を衛る》

【探索Searching】 《実態探索》 〈強み発掘〉 〈課題把握〉 〈資源探索〉 ／ 《実態顕在化》〈見える化〉〈実在見せ〉〈要因見せ〉

**【活気づけStimulating】 《当事者意識醸成》 〈ワレラゴト（我ら事）共有〉 〈みなで/ともに/楽しく浸透〉 ／ 《やる気下支え》 〈発起アシスト〉 〈元気バックアップ〉**

【促進Facilitating】 《総力活用推進》 〈担い手拡充〉 〈相互寄与見せ〉 ／ 《全体定着推進》 〈地域普及〉 〈主導化応援〉

**■配役表（シナリオを用い、配役して、声に出して読み、その役割演技を通して学ぶ場合）**

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **配役** | 保健師  新田菜 一歩 | 自治会長  大屋 しず | 健康推進員  中川 由子 | 住民  木原 美樹 | 観察者 |
| シナリオ１ |  |  |  |  |  |
| シナリオ２ |  |  |  |  |  |

※シナリオ中、網掛け部分は動画では省いています。読み合わせではご活用ください。

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| シナリオ１ | | 気づき欄１ | シナリオ２ | | 気づき欄２ |
| 新田菜保健師  木原  新田菜保健師  大屋/中川/木原  新田菜保健師  中川/木原  大屋  新田菜保健師  大屋/中川/木原  新田菜保健師  大屋/中川/木原  新田菜保健師  新田菜保健師  木原  新田菜保健師  新田菜保健師  大屋  新田菜保健師  中川  新田菜保健師  大屋/中川/木原 | （机上にA4資料が一人1枚配布されている）  みなさん、こんにちは。本日は「わがまち・丸ごと知ろう会」にお集まりいただきありがとうございます。  私はスミレ地区担当の保健師、新田菜一歩（あらたな・いっぽ）と申します。  さて、地区毎に担当の保健師がいるって知ってくれていましたか？いかがですか？  地区毎というのはちょっと。。。  そうですか、ありがとうございます。では、これを機会にぜひ知っていただければと思います。A市では地区ごとに担当の保健師がおり、みなさんの健康づくりをご支援しています。どうぞよろしくお願いいたします。  （パチパチ拍手）  さて、本日お集まりいただきましたのは、みなさんにこの地区、そうスミレ地区について知っていただきたいからなんです。　みなさんはスミレ地区の高齢化率についてご存知ですか？  （知らないという顔）  A市全体の、であれば聞いたことがありますが、、、  お、さすが大屋自治会長さん。はい、普段なかなか地区単位の高齢化率を知る機会はないですもんね。本日の最も大事な目的は、レジメにもお示しした「スミレ地区について知る」です。これが本日の1番目の目的です。  （うなづく）  2番目の目的は、「それぞれの願いを出し合う。」そして、3番目は、「願いを叶えるためにできることを、ひとつだけ決める」、になります。  つまり、今日は、地区の状況を知っていただいたうえで、みなさんがどのような願いを持っておられるのかを伺い、その願いを叶えるためにできることを出し合っていただこうと思います。  ここまで、ご了解いただけましたか？  （うなづく）  ありがとうございます。それでは、これより本題に入って参ります。  （テロップ/役割演技では読んでください：このあと、まず参加者に自己紹介と参加理由を述べてもらいますが、ここでは省略します）  ここにお示ししたのは、B町の3つの地区リンドウ地区、スミレ地区、レンゲ地区の高齢化率です。65歳以上の人口割合ということになりますが、リンドウ地区が34.8%、スミレ地区が23.3%、レンゲ地区12.5%となっています。  リンドウ地区は昭和44年に造成されていて、スミレ地区が48年、レンゲ地区が50年なので、B町の中ではリンドウ地区が最も早くできた地区になります。ですので、住宅地が造成された年からの年月が長いほど高齢化率が高い状況ということになります。  スミレ地区も4年後はリンドウ地区と同じ年月が経つことになりますね。  それは何を意味しているでしょうか。  スミレ地区が抱える課題について、どのようにお考えになりますか。  木原さんどう思われますか。  それは、あと4-5年たったら、今はスミレ地区は65歳以上が4人にひとりだけど、3人にひとりになるってことですか。  そうですね。そのように考えていいですね。地区の中で高齢者の割合が増えるということは、それだけ支援や介護が必要な方も増えるということです。また、当然ご病気や事故でお亡くなりになる方もいらっしゃるので、夫婦二人から一人暮らしになる方も増えることになります。  では次に資料の下の図表をご覧ください。スミレ地区の、現在65歳以上の方の年齢区分別の人数を示し、円グラフに％を表しています。今、人数が多いのは、65-69が78人中21人、70-74歳の24人です。  どうでしょうか。この割合は、5年後、10年後にどうなると思われますか。  大屋自治会長いかがですか？  それは5年後にはこの65-69歳の21人が70-74歳になって、70-74歳の24人が75-79歳になって、、と、まぁ順々に年を取りますよね。  その通りですね。みなさんもイメージができますでしょうか。この実態を実感してみなさんはどう思われますか。中川さん、いかがでしょうか。  なんか、、、年寄ばっかりになって、お先真っ暗な感じがしてきました。  （暗くなるのを吹き飛ばすように元気に）いえいえ、まだ間に合います。みなさんが何とかしなくちゃと思って立ち上がっていただければ、まだ大丈夫です。  （テロップ/役割演技では読んでください：保健師は数人に意見を聞きますが、ここでは割愛します）  どうでしょうか。何とかしなくちゃと思っていただけましたか？  （うなづく） |  | 新田菜保健師  大屋/中川/木原  新田菜保健師  大屋/中川/木原  新田菜保健師  中川  新田菜保健師  木原  新田菜保健師  大屋  新田菜保健師  大屋/中川/木原  新田菜保健師  中川  新田菜保健師  大屋/中川/木原  新田菜保健師  新田菜保健師  木原  新田菜保健師  新田菜保健師  中川  大屋  新田菜保健師  木原  新田菜保健師  大屋  中川  大屋/中川/木原  新田菜保健師 | (目的だけが見えるように下半分を折ったA4資料が一人1枚配布されている)  みなさん、こんにちは。本日は「わがまち・丸ごと知ろう会」にお集まりいただきありがとうございます。私はスミレ地区担当の保健師、新田菜 一歩（あらたな・いっぽ）と申します。（全員の顔を見回して嬉しそうに）今日お越しいただいているのは、何度かお目にかかったことがある方ばかりのようにお見受けします。ですが、最初に質問させてくださいね。何をするかと言いますと、せぇーのと言ったら、グーチョキパーで手をあげて答えてください。グーは「私、新田菜を地区担当保健師だと知っている」、チョキが「知らなかったけど、どこかで私、新田菜を見たことがある」、最後パーは･･･「そんなのかんけーねぇ」です（反応を見て説明を繰り返してもよいが、ここでは省略）。よろしいですか。ではせぇーの！  えー､なにー､パーってははは~（など口々に言いながらグーかチョキをあげる）  ありがとうございます！　みなさんグーとチョキを出してくださいました。パーはどなたもいらっしゃらなかったですねー、よかったですぅ。はい、これからもみなさんの健康づくりのパートナー、保健師 新田菜 一歩をよろしくお願いします。  いえーい！（パチパチ拍手）  さて、本日お集まりいただきましたのは、みなさんに○○について知っていただきたいからなんです（レジメの目的の伏字○○のところを指す）。目的に「○○について知る」と書かせていただきました。この○○には何が入ると思いますか？（みなを見回し、手上げを促す）では、中川さんどうぞ。  あ、わがまち　ですか？  なるほど。ありがとうございます。ほかにもご意見ありますか？　はい、木原さんどうぞ。  スミレ地区　ですか？  （感動し）中川さん、木原さん、さすがです。本日の１番目の目的は、「わがまちスミレ地区について知る」、でした。みなさん、拍手―！  本日の最も大事な目的は、これなんです。それでは横の空欄に、わがまちスミレ地区とお書きください（少し間）。それでは、次は2番目の目的、これは読んでいただいてもよろしいでしょうか。では自治会長、大屋さん、お願いします。  はい、目的の2．それぞれの願いを出し合う。  はい、ありがとうございます。地区の状況を知っていただいたうえで、みなさんがどのような願いを持っておられるのかについて出し合って、確認したいと思います。ここまでのところ、ガッテンいただけましたでしょうか？（ガッテンのジェスチャー、左手のひらに右こぶしを打ってみせ、みなからの返しを促す）  はははは~（笑いながら、ガッテンのジェスチャーで反応を返す）  ありがとうございます。そして3番目、これは今日、ぜひ到達してほしい、本日のゴールになります。中川さん、ここお願いできますか。  3．願いを叶えるためにできることを、ひとつだけ決める  ありがとうございます。はい、そのとおりです。みなさんが、今日ここに来てくださったということは、わがまちスミレ地区のことを思ってのことと思います。みなさんの思いが、ひとつでも形になっていくことが、みなさん全員の健康づくり、そしてスミレ地区全体の地域づくりに役立つことと思っています。保健師からの願いも込めて、本日の目的とさせていただいています。  それでは、これより、本日の「わがまち・丸ごと知ろう会」を始めさせていただきます。もう一回、ガッテンよろしいでしょうか？（ガッテンのジェスチャー）  はははは~（笑いながら、ガッテンのジェスチャーで反応を返す）  （テロップ/役割演技では読んでください：このあと、まず参加者に自己紹介と参加理由を述べてもらいます。参加者はそれぞれに対して拍手して、誰か一人が一言ポジティブ・フィードバックを返します。ここでは省略します）  それでは資料をお配りします（A4カラー両面資料１枚を配る）。  ここにお示ししたのは、Ａ市B町の3つの地区、リンドウ地区、スミレ地区、レンゲ地区の実態です。グラフは3つの地区の高齢化率、つまり65歳以上の人口の割合を示しています。  昭和44年にできたリンドウ地区が34.8%、48年にできたスミレ地区が23.3%、50年のレンゲ地区12.5%です。住宅地が造成された年からの年月が長いほど高齢化率が高い状況です。世帯人数の平均は、順に2.4人、2.5人、3.3人となっており、高齢化率が高いほど人数が少ない状況です。  地区ごとの一人暮らしの方の人数のデータがなかったのですが、この世帯人数の少なさに表れていると思われます。  いかがでしょうか、ご自身のイメージとおなじでしたでしょうか。  ここから、このB町、そしてスミレ地区が抱える課題について、どのようにお考えになりますか。同じテーブルの4人で、思ったことや、意見を出し合ってください。  （参加者はここで数分ワイワイ話し合いますが､ここでは省略､発表場面へ）  それではこちらのグループからお聴きしましょう。こちらでは、どんなことがあがってきましたか？  私たちは、リンドウ地区で先月、高齢者の孤立死があったことにショックを受けていました。今、この資料を見せていただいて、スミレ地区と世帯人員の平均人数がほぼ同じなのに、リンドウ地区の高齢化率が30％を超えていることを知って、身体が弱っていく、年寄りの多い地域だったから、、、だからあんな事件が起きたのかなぁ、、、って思いました。  それは、目の付けどころがとても的確ですね。リンドウ地区での事件をみなさんもご存知でしょうか？（みな、うなずく）  亡くなられた方はもちろん気の毒なのですが、地区の方々に伺うと、気づけなかったことを、まわりの住民の方々がとても悔やんでおられるということでした。本当に痛ましい事件でしたね。  （テロップ/役割演技では読んでください：実際は他のグループの意見も聴きますが、ここでは省略します）  それでは資料の裏面をご覧ください。これは、スミレ地区の、現在65歳以上の方のみ、つまり、表面の23.3%の方々のみについて、現在と、5年後、10年後にどうなるか、年齢区分別にその数をお示ししたものです。これは、今住んでおられる方が、引っ越しせずに、スミレ地区に住み、ご存命でいらっしゃった場合ということでお示ししています（事実を淡々と説明する）。  ご覧のとおり、5年後には65歳-69歳の方は70-74歳に、10年後にはみんな75歳以上とスライドしていき、ピンクで示したような人数の構成になります。もちろん、高齢化率も現在23.3%ですが、5年後はたぶん30％以上、10年後は35％以上になると予測されます。  それじゃぁ、5年後は今のリンドウ地区のようになって、10年後はもっとすごいことになるということじゃないですか。  事件以来、リンドウ地区のようになってはたいへんと思ってたけど、スミレ地区も、すぐに深刻な状況になりそう、、、  そのリスクがあるということだと思います。  それは、私たちが、何とかしなくちゃということですか。  そう思っていただけるなら、一生懸命ご支援いたします。  5年後に、安心して暮らしていけるように、ね、、  今から、何とかしていかなくちゃ、、、  ほんと、そうねぇ（など口々に言う）  はい、その通りだと思います。一緒に考えて、しっかりご支援していきたいと思います。 | 場面１  １）導入  ２）目的  ３）地区の実態 |

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 新田菜保健師  大屋/中川/木原  新田菜保健師  大屋  中川  木原  大屋  木原  中川  木原  中川  大屋  木原  中川  新田菜保健師  大屋/中川/木原  中川  木原  大屋  新田菜保健師  木原  新田菜保健師  新田菜保健師  大屋  新田菜保健師  大屋  新田菜保健師  大屋/中川/木原  新田菜保健師  大屋/中川/木原  大屋/中川/木原 | ここまでは、まず、スミレ地区の実態について、ご説明いたしました。次のパートは、みなさんが5年後、10年後、どんなふうに暮らしていたいか、この、スミレ地区をこれからどんなまちにしていきたいかについて、お一人お一人の願いを語っていただきたいと思います。  ご存知のことと思いますが、先月リンドウ地区で、高齢者の孤立死がありました。すぐ隣りの地区なのでとてもショックだったと思います。もし自分たちの地区だったらどうだったでしょうか。そんな風にならないためにも、これからのスミレ地区について、どのようになったらいいか、願いを出し合いたいと思います。この4つの内容について、私が板書しますので、お一人づつ意見をお願いします。どうぞ。  [板書]  1. 5年後、あなた自身がどんな暮らしをしていたいか  2. 5年後、地区の人とともに地域でどんな暮らしをしていたいか  3. そうなるために、活かせるわがまちスミレ地区の強みは何か  4. その強みを活かして、スミレ地区でこれからどんな取り組みができそうか  （顔を見合わせ、そのあと、参加者だけでしゃべる）  （板書をしている身振り）  リンドウ地区のことはねぇ、ショックでしたよね、、、だと1は、健康で長生き、でしょうか、、、  私も、、、ショックだった、あれは、、、  ほんと、そうですねぇ、、、  だと、2は、、、みんなで元気に、、かな。  そうですね。  そうですね。  次は、3ですか、、、この地区の強みは、、景色がよくて空気がきれい、ということかしら  はい、ですです。  4は？  ん~、毎日の声の掛け合いかな。それと毎年、健康診断に行く、、、  はい、それならできるかもしれないです。  ありがとうございました。ホワイトボードに書きだしたように、みなさん同じような願いがあることがわかりました。  ここからは今日の目的3になります。3は「願いを叶えるためにできることを、ひとつだけ決める」ということでした。  みなさんで話し合っていただけますか。  20分くらいでお願いします。  はぁ･････。  自治会長さん、これってどうしたらいいんでしょうか。  ここにきている人は、みんな、健康教室にも参加したり、お祭りにも熱心な人たちなので、、、  我々だけで決めても、来ていない人が、どう思うか、、、  （テロップ：20分経過）  それでは、時間になりましたので、まずこちらのグループから発表をお願いします。  はい、色々悩むんですけど、今日は、スミレ地区がこのままでは大変だということが分かったので、自治会の班長会で大屋自治会長さんに現状を説明してもらってはということになりました。  （テロップ：他のグループの発表はここでは割愛します）  それでは、今日みなさんが話し合われた結果としては、  これから5年後10年後に向け、1.健康で長生きしたい、そして2.みんなで元気に暮らしたいという願いがあること、それに活かせる強みは3.この地域の環境の良さがあるということでした。  そして最後に、目的３．願いをかなえるためにひとつだけ決めたこととしては、自治会の班長会で大屋自治会長から実態を説明してもらうということでした。  自治会長さん、それでよろしかったでしょうか。  はい、わかりました。  結果について、また教えていただいてよろしいかったでしょうか。  はい、わかりました。  みなさんもそれでよろしかったでしょうか。  （一同、うなづく）  ではみなさん、これで本日の「わがまち・丸ごと知ろう会」を終わらせていただきます。ありがとうございました。  お疲れ様でした。  じゃ、さよなら、、、  （後ろのドアから、帰路につく） |  | 新田菜保健師  新田菜保健師  大屋/中川/木原  新田菜保健師  中川  大屋  新田菜保健師  木原  大屋  新田菜保健師  大屋/中川/木原  新田菜保健師  大屋/中川/木原  新田菜保健師  木原  新田菜保健師  中川  大屋  新田菜保健師  大屋/中川/木原  新田菜保健師  大屋/中川/木原  新田菜保健師  大屋/中川/木原 | いま、本日の大事なところ、まず、わがまちスミレ地区の実態について、ご理解いただきました。次のパートは、5年後、10年後、みなさんがどんなふうに暮らしていたいか、この、わがまちスミレ地区をどんなまちにしていきたいかについて、お一人お一人の願いを語っていただきたいと思います。  そのために、ここに4色のハート形の紙とマジックをご用意しました。みなさんの「思い」を書いていただくということで「ハート形」です（笑み）。まずお一人づつ、4色　4枚　配ってください。  ここに、ご自身の思い、願いを書いてください。  ホワイトボードにお示ししたように、ピンク色には、「5年後、あなた自身がどんな暮らしをしていたいか」、黄色には、「5年後、周りの人と一緒に、地域でどんな暮らしをしていたいか」、緑には、「そうなるために、活かせるわがまちスミレ地区の強みはなんだと思うか」、水色には、「その強みを活かすと、わがまちスミレ地区でこれからどんな取り組みができそうか」を書いてください。1枚にひとつ、何枚書いていただいてもけっこうです。  書き終わったら、お一方づつ、前のボードに貼ってご説明をお願いします。このボードも、夢をふくらませる、願いを届けるという気持ちをこめてバルーンにしてみました。  （テロップ/役割演技では読んでください：ここでは参加者全員が順に一人づつ前に出て、ハートの紙を貼って説明します。それを聴いて、みんなが拍手でたたえますが、ここでは省略します）  すごいですねー。あっという間に、こんなにたくさんの願いが、集まりました。ピンク、ご自身の5年後については、「健康で」「楽しく」「自立」「安らぎ」「挑戦」「夫婦で」「今の家で」「迷惑をかけないで」といった言葉が見られます。  黄色、5年後地区のみんなとどうしていたいかについては、「地域自慢したい」「近所づきあい・仲良く・親しい間柄」、そして「話したい・声かけ・助け合う・相談できる」といった言葉が見られます。  緑、それらの願いをかなえるために、活かせる強みについては、「公民館・公園」「四季折々の景色、桜・野草、日当たり」「気軽に交流できる」や、「思いやり・人の輪」というのもが出ています。  水色、それらの強みを活かしてスミレ地区でできそうな取り組みについては、「おしゃべりできる場・交流の機会」「仲良く・声かけ・挨拶」「」と、色々出てきましたねぇ。  へぇ~、あれいいな、それもいいな、ほぉ~（ワイワイ口々に話す）  さてみなさん、ここからは今日の目的3に入ってまいります。3は「願いを叶えるためにできることを、ひとつだけ決める」ということでした。・・・とはいえ、これだけたくさんの願いが集まりましたので、どうしようかと思ってしまいますね。そこで、今日は、みなさんにまず、この中で、最も、みなさんにとって、このスミレ地区にとって大事だと思う願いに絞って考えていただきたいと思います。さて、どの願いが最も大事でしょうか。  えっと、私は黄色の「ここに住んでよかったと皆と地域自慢にしていたい」だと思います。  賛成、私もそれかな。それともう一つ、黄色の「みんなと仲良く、声をかけ、お付き合いを続けたい」も大事だと思います。  なるほど。ありがとうございます。「ここに住んでよかったと皆と地域自慢にしていたい」と「みんなと仲良く、声をかけ、お付き合いを続けたい」があがりました（参加者が選んだハートに、花をマーカーとしてつけていく）。  ほかにはいかがですか。  その二つもとっても大事。それと、年を取っていくので、ピンクの「健康で楽しく長生きしたい」も大切にしたいと思います。  確かに、あがった３つはどれもすごく大事よね。それを叶えるには、緑の強みにある「公民館がある、四季折々の景色が素晴らしい」を活かして、水色の「様々な交流の機会を持つ」、そんな取り組みが必要。  （テロップ/役割演技では読んでください：実際にはもっとたくさんあがる可能性あります。その場合は、似たものをひとつにまとめるなどして整理していきます。）  なるほどー。ありがとうございます。それでは、みなさんが集約してくださったこれらを、みなさんの最も大事な願いとしてまとめてみましょう（まとめて板書する）。  みなさんの大事な願いは、「健康で楽しく長生きするために、みなと仲良く、声をかけ、四季折々、様々な交流の機会と場を持ち続けながら、ここに住んでいてよかったと自慢できるスミレ地区にしていきたい」ということになりますでしょうか。  みなさん、この願い、いかがでしょうか。これはスミレ地区がこれから目指す目標となりそうですね。それでは、忘れないように、これをレジメに書き留めておいてください。  いいねー、そうなっていきたいねー、うんうん（など、口々に言って、うなずく）  （最初に配布していた用紙の折り目を開く。事前に書いてあるので確認）  それでは、ここでもう一度、本日最後の目的であった「願いを叶えるためにできることを、ひとつだけ決める」について考えてください。ひとりにつきひとつ、でお願いします。自分にできそうなことです。けっして難しく考えないでくださいね。できそうなこと、簡単なことを、ひとりひとつだけ考えてください。無理しなくてもできることです。これだったら私やれるわ、ということを考えてください。  これも、用紙とマジックをご用意しました。ひとりひとつ決まったら、この胸の四角のところに書いてください（宣言シートを配布）。  えーどうしよっかなー、うーん、あれかなー（ワイワイ色々言いながら決めて書くふりをする。役割演技では、このあと、あらかじめ準備した記入済み用紙を用いて発表）  （テロップ/役割演技では読んでください：実際には、二つ書きたいという場合もあり。その場のダイナミクスで臨機応変に対応します。自分もたくさん書きたかったのにと羨む人が出ないように、みなの承諾を得るなど配慮がいります。ここでは省略します。）  それでは、みなさんお書きになったようですので、発表していただきます。今回はお隣さんによる発表にしまーす。グループ毎に前に出てきてもらい、例えば、中川さんの分を木原さんが「願いを叶えるために中川さんは、○○する」と決めました、というように紹介してください。では、どうぞ。  はい。では、中川さんのを発表します。願いを叶えるために、「月に1回公民館でお茶会を開く」ことを中川さんは決めました。  すごいです！　ありがとうございます。ほんと、すごいですね。みなさん拍手！  では交代してください。  はい、大屋さんです。私たちの願いを叶えるために、「今日来ている人だけでなく、来ていない人に、今日の内容を伝え、目標を理解してもらう、そのためにもお茶会に、みなを誘う」、と決めました。嬉しいでーす！  木原さんです。私たちの願いを叶えるために、木原さんは、「公民館でお茶会をする際に、保健師さんやボランティアさんの協力を得て、A市いきいき体操を行う」ことを決めました。これは助かりますー！  （テロップ/役割演技では読んでください：同様に宣言シートの内容を発表し、宣言シートは前のホワイトボードに貼っていきます。他チームの発表は、ここでは省略します）  みなさん、素晴らしい宣言でした。すごいですね。みなさんに秘められたパワーを肌で感じることができました。あっという間にひとつ、スミレ地区での健康づくり活動が立ち上がりそうです。みなさんが考えたこの企画が、本当に実現するように、これから具体的なことを考えていけるとよいですね。保健師としては、ここに集まってくださったみなさんが中心になって、できることから動いてくださることを期待しています！  まずは「わがまち・丸ごと」の考え方や、みなさんが決めたスミレ地区の目標が、地区のみんなに浸透するように動くことからでしょうか。もちろん保健師としても、一緒に考えて、みなさんが自信を持って進んでいけるように、ご支援できればと思っています。  わぁ、保健師さん頼りにしてまーす、保健師さんありがとう！（などワイワイ話す）  新しいことを始めるには、みなさんひとりひとりの力が欠かせません。本日は「わがまち・丸ごと知ろう会」ということで、知ることに重きを置いた会でした。これから、まだ知らない人に知ってもらうこと、知ってもらったみなさんには、できることからどう進めるかを考えていただきたいです。ですので、次は、具体的な進め方を決めていくための会が必要ですね。いかがでしょうか。みなさん主体で開いてくださいますでしょうか。  開こう、やろう、いつがいい？（などワイワイ話す）  ありがとうございます。本日の「わがまち・丸ごと知ろう会」はこれで終了します。  保健師も、みなさんの願いが叶うように、引き続き関わらせていただければと思います。  では、次回の日程についてこのあと話し合っていただけるということで、どうぞよろしくお願いいたします。ご参加ありがとうございました。  どうする？、早い方がいいね、来週は？、お菓子作ってくる（など、ワイワイ口々に、楽しく話をしながら、保健師にも挨拶をして、帰路につく） | 場面２  ４）住民の願い  ５）願いの実現に向けて  ６）活動目標  ７）活動計画  ８）参加  ９）始動へ |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | **自身で記入** | **デブリーフィング・フィードバックで追記** |
| **学び欄**  シナリオ１・２の内容を比較し、  異なる点からワザのポイントを導く |  |  |
| **アクション欄**  自分がこのワザをいつどのような場面で使うか、  今までと比べて何がよくなりそうかを記入 |  |
| **リフレクション欄**  グループ内での検討やフィードバックを受けて成長したことを記入  ●学習前より地域の強み・それを高めるワザについてどう理解や行動が変わったか |  |